

平成 19 年度高等学校学力向上スーパープランに係る
学力調査及び学習状況・意識調査の結果の概要

調査の概要

1 調査の目的

- (1) 県立高等学校の生徒の学力及び学習状況・意識を調査・分析することにより，教育施策の成果と課題を把握し，その改善を図る。
- (2) 各県立高等学校が，全県的な状況との関係において，自校の学力向上の取組の成果と課題を把握し，その改善を図る。

2 調査の内容

- (1) 生徒を対象としたペーパーテストによる調査
 - ア 調査教科（科目）：国語（国語総合），数学（数学 ），外国語（英語 ）
 - イ 調査内容：学習指導要領の目標の達成状況に関する調査
- (2) 生徒及び教員を対象とした質問紙による調査
 - ア 生徒質問紙調査
学習意欲，学習状況，学習環境及び生活の諸側面等に関する調査
 - イ 教員質問紙調査
学校における指導内容，指導方法及び人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査

3 調査の実施日及び対象学年

- (1) 調査実施日：平成 19 年 6 月 8 日（金）
- (2) 調査対象学年：全県立高等学校の全日制課程第 2 学年及び定時制課程第 3 学年

4 調査対象

- (1) 生徒については，各学校 1 学級を無作為に抽出した。ただし，複数の学科を設置する学校においては，県全体の学科の設置状況を勘案して，対象学科を選定した。
なお，生徒が該当科目を履修していない場合は，その科目については調査対象外とした。
- (2) 教員については，各校の国語，数学及び外国語の各教科担当者 1 名ずつの計 3 名を対象とした。

5 実施方法

- (1) 調査対象生徒は，ペーパーテスト 3 科目を全て受験し，質問紙による調査に回答するものとした。
- (2) ペーパーテストの実施時間は，1 科目当たり 50 分とした。

6 調査実施の学校数，学科数，生徒数及び教員数

(1) 学校数：107校（分校を含む） 学科数：117

		全日制	定時制	合計
普通科		66 (83)	10 (10)	76 (93)
専門学科	農業に関する学科	4 (6)	1 (1)	5 (7)
	工業に関する学科	8 (11)	1 (1)	9 (12)
	商業に関する学科	9 (12)		9 (12)
	家庭に関する学科	5 (8)		5 (8)
	¹ その他の学科	8 (9)		8 (9)
総合学科		5 (6)		5 (6)
合計		105 (135)	12 (12)	117 (147)

() は設置されている全学科数を表す。

- 1 水産(1)，看護(1)，福祉(1)，理数(1)，音楽(1)，美術(1)，国際 (2)
- 2 平成 19 年度の県立高等学校の学校数は 112 校である。(分校を含む)

(2) 生徒数及び教員数

生徒数

教科・科目等		人数		
		全日制	定時制	合計
国語	国語総合	3,131	193	3,324
数学	数学	3,124	186	3,310
外国語	英語	3,130	173	3,303
学習状況・意識調査		3,214	189	3,403

教員数

教科	人数		
	全日制	定時制	合計
国語	105	12	117
数学	104	12	116
外国語	104	11	115
合計	313	35	348

平成 19 年 5 月 1 日における県立高等学校全日制第 2 学年の生徒数は，20,439 名，定時制第 3 学年の生徒数は，370 名。県立高等学校の教員数は 4,844 名である。(教員数に含まれているのは，校長，教頭，教諭，養護教諭，実習助手であり，通信制の 28 名を含む。)

7 分析方法

(1) ペーパーテストによる調査

個々の問題ごとにあらかじめ「設定通過率」を定め，設定通過率と通過率を比較した。

設定通過率とは，学習指導要領に示された内容について，標準的な時間をかけ，学習指導要領で想定された学習活動が行われた場合，個々の問題ごとに正答又は準正答の割合の合計である通過率がどの程度になるかということを示した数値である。

本調査においては，文部科学省が実施した教育課程実施状況調査における設定通過率を参考にして数値を決定した。

(2) 質問紙による調査

学習の到達度と学習状況・意識の関連を調べるために，ペーパーテスト調査の結果により生徒のグループ分けを行った上で，ペーパーテスト調査の結果と質問紙調査の回答を比較して関連を見た。

調査結果の概要

1 ペーパーテスト調査結果

(1) 設定通過率との比較

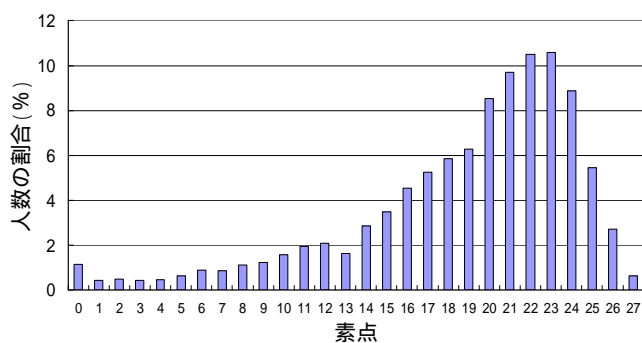
通過率が設定通過率を上回る又は同程度と考えられる問題数は、3科目全体で5割程度であった。科目別に見ると、国語総合で7割程度、英語で5割程度、数学で3割程度であった。

区分		問題数	設定通過率を上回ると考えられる問題数	設定通過率と同程度と考えられる問題数	設定通過率を下回ると考えられる問題数
国語	国語総合	27	18	2	7
数学	数学	22	0	6	16
外国語	英語	26	6	6	14
合計		75	24	14	37

(2) 素点（正答数）分布

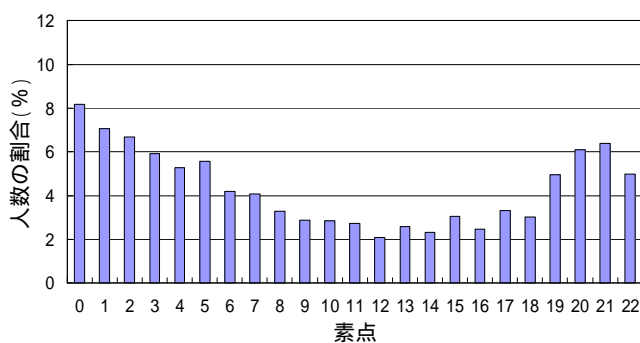
国語総合においては、全体的に素点が高い生徒が多かった。数学においては、素点の高い生徒と低い生徒の2極化の傾向が見られた。英語においては、素点にばらつきが見られた。

国語総合



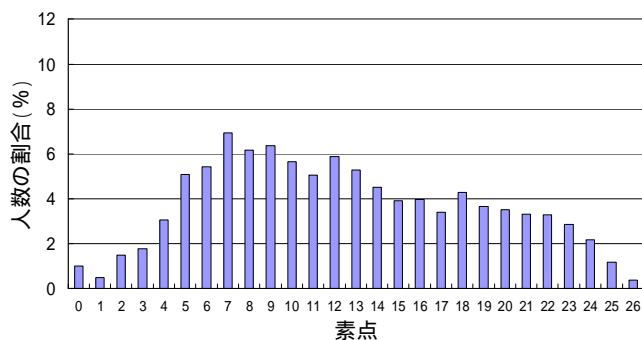
国語総合の素点別人数の割合

数学



数学の素点別人数の割合

英語



英語の素点別人数の割合

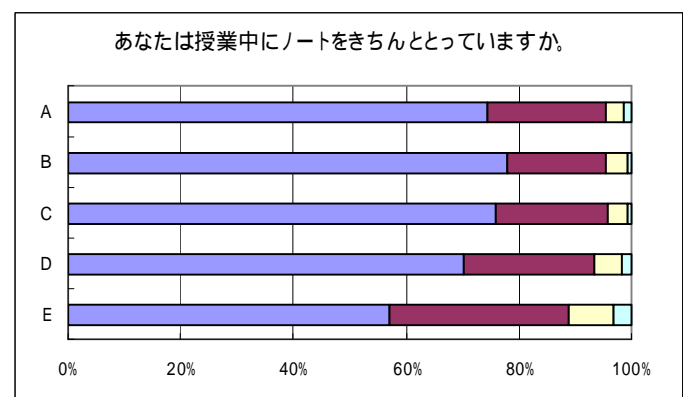
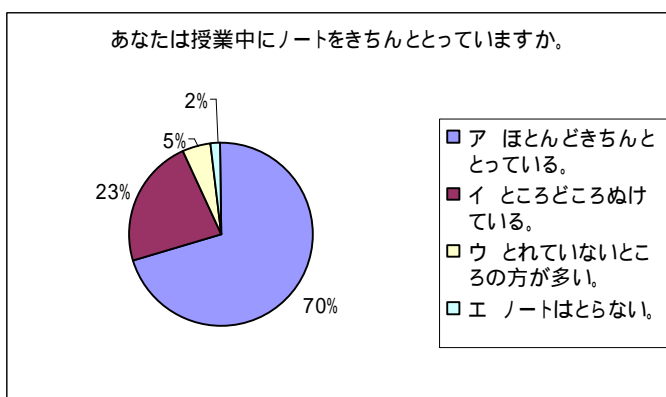
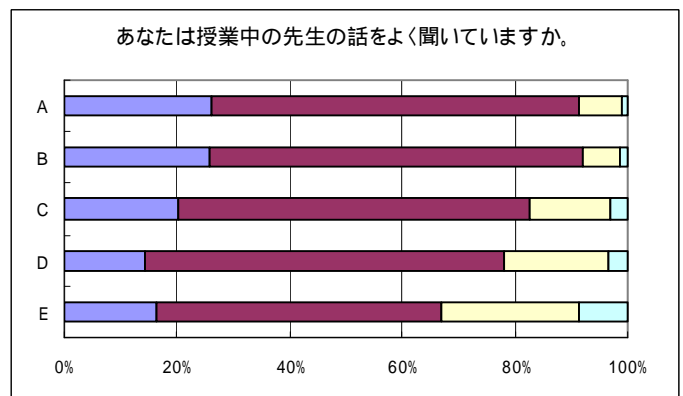
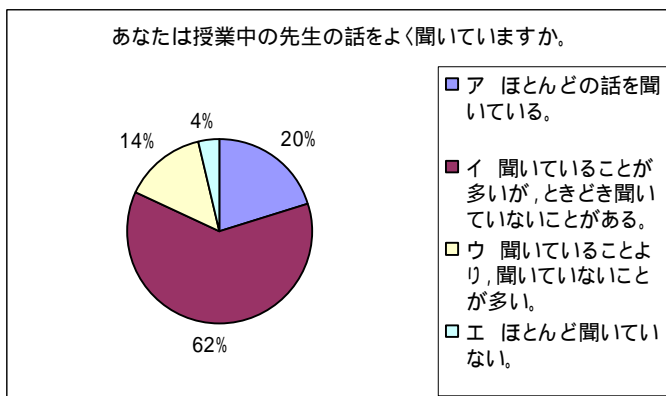
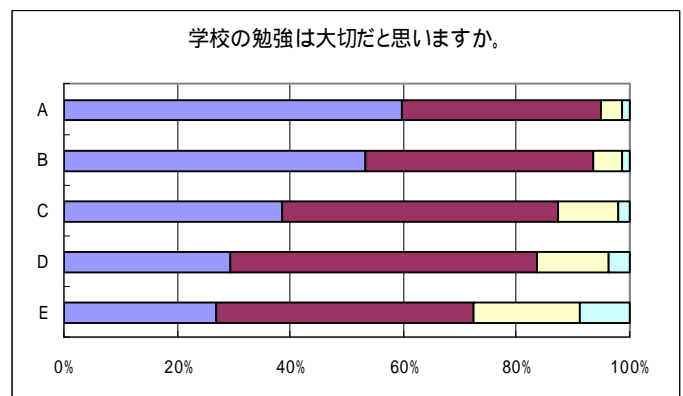
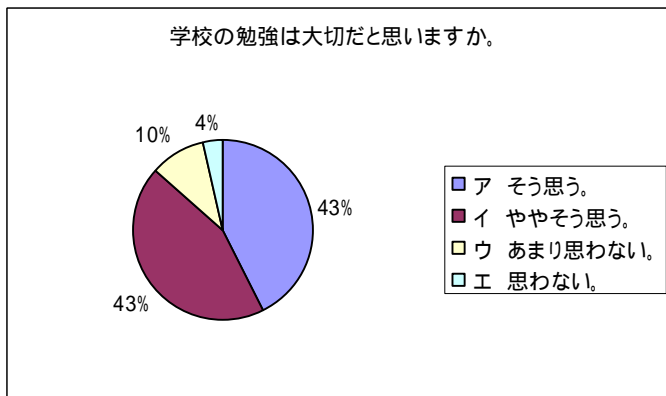
2 質問紙調査結果

生徒のグループ分けについては、ペーパーテスト調査の結果に基づいて5つのグループに分けた。Aグループが最も素点（正答数）が高いグループで、Eグループが最も素点（正答数）が低いグループである。

ただし、グループ分けに当たっては、教科毎に問題数や平均点が異なるため、教科毎に偏差値を算出し、3教科の偏差値の合計を用いた。

(1) 学習に対する意識

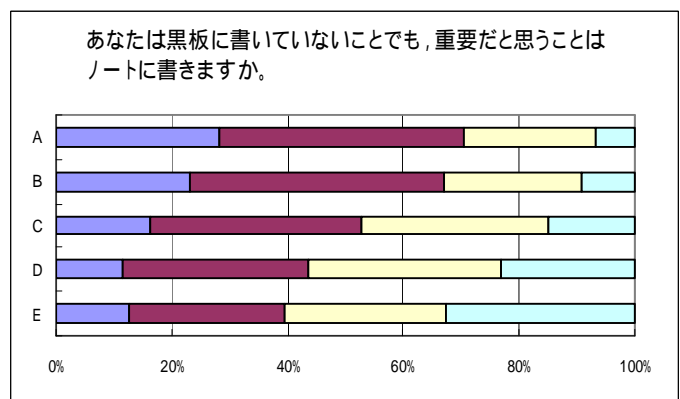
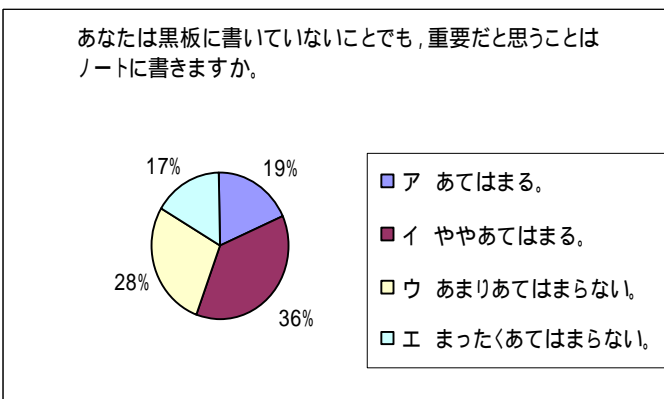
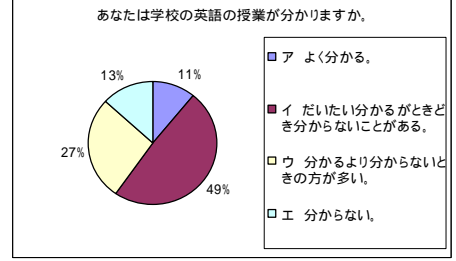
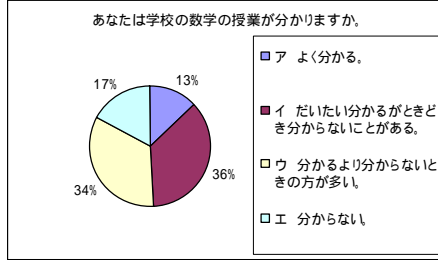
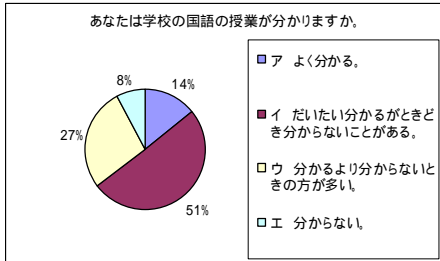
「学校の勉強は大切だと思いますか。」という問いに対して、「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒の割合は8割を超えており、学校の勉強が大切だという意識は高い。また、大部分の生徒は、授業中に先生の話の聞き、ノートをきちんととっていると答えている。



(2) 授業の理解

「あなたは学校の授業が分かりますか。」という問いに対して「よく分かる」「だいたい分かる」と答えた生徒の割合は国語や英語では6割程度、数学では5割程度である。

AグループやBグループでは、黒板に書いていないことでも重要だと思うことはノートに書く生徒が多い。授業中にメモをとる生徒は、素点（正答数）が高い傾向が見られる。

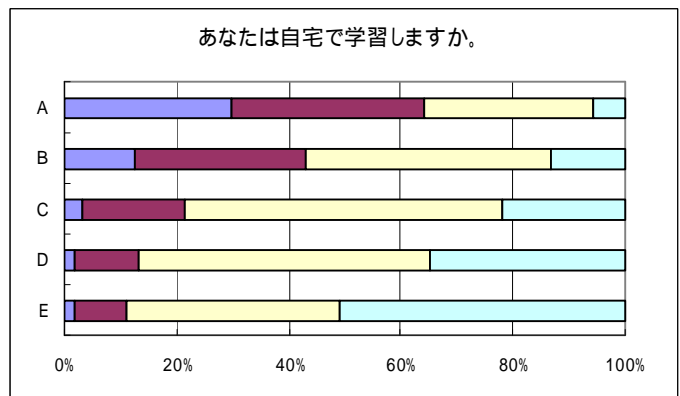
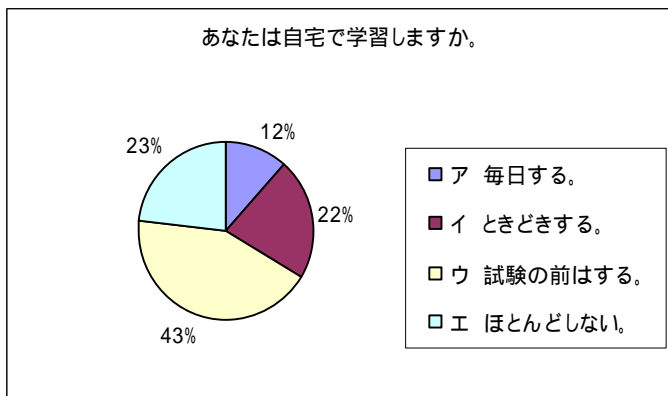


(3) 校外での学習

自宅で毎日学習する生徒は1割程度である。平均の学習時間は、平日で44分、休日で57分であるが、進路希望や、宿題の出される頻度によって大きく異なる。A、Bグループでは、「勉強は学校以外でもしなければならない」という意識が高い。

ア 自宅での学習

自宅で毎日学習すると答えた生徒は1割程度であり、ほとんどしないと答えた生徒は2割程度である。



イ 小中学校の児童生徒の学習時間との比較

平均の学習時間を学年毎に比較すると、高等学校の全日制第2学年及び定時制第3学年の生徒の平日の学習時間は、小学3年生より短く、休日の学習時間は小学6年生より短い。

学年別の学習時間

学 年	平日の学習時間	休日の学習時間
小学校3年	48分	47分
〃 4年	51分	52分
〃 5年	53分	55分
〃 6年	57分	58分
中学校1年	65分	77分
〃 2年	53分	67分
〃 3年	57分	72分
高等学校	44分	57分

小中学校に関するデータについては、「平成18年度学習に関する意識実態調査」による。

小学校2年～中学校3年のデータは、塾等の学習時間を除いたものであり、高等学校の学習時間については、塾・予備校等の学習時間を含む。本調査によると塾・予備校に通っている高校生は少ないため、すべて、自宅での学習時間であるとした。

ウ 進路希望別の学習時間

進路希望により、1日の平均学習時間は大きく異なる。大学及び短大への進学を希望していない生徒は、校外での学習時間が短い。

進路希望別の学習時間

進路希望	平日の学習時間	休日の学習時間
大学及び短大	63分	87分
専門学校	29分	29分
就職	21分	21分
未定	23分	25分

エ 宿題と学習時間の関係

宿題を出している教員は、調査対象教員全体の9割であり、宿題を出している頻度が高いほど、生徒の学習時間も長くなる傾向が見られた。

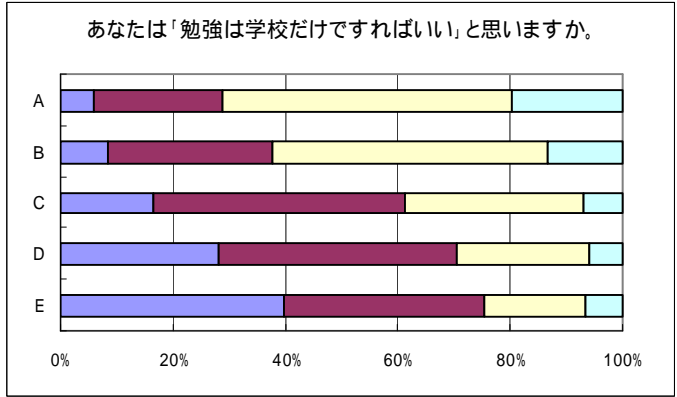
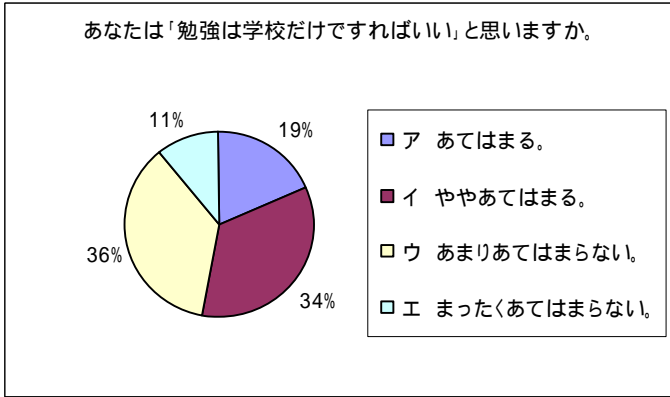
宿題と学習時間の関係

宿題の頻度	平日の学習時間	休日の学習時間
授業がある日は毎回	82分	108分
授業がある日の半分	60分	82分
週に1回程度	49分	68分
月に1回程度	32分	41分
年に5回程度	26分	29分
年に1回程度	34分	34分
宿題は出さない	32分	30分

教員を対象にした質問紙調査において、「あなたは宿題を出していますか」という問いに対して、「まったく出さない」以外の回答をした教員の割合。

オ 意識

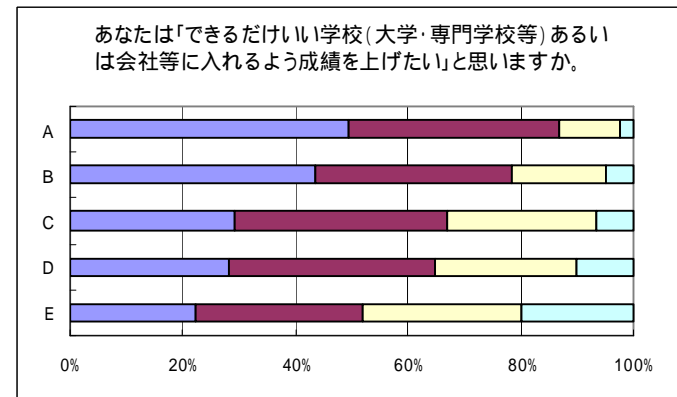
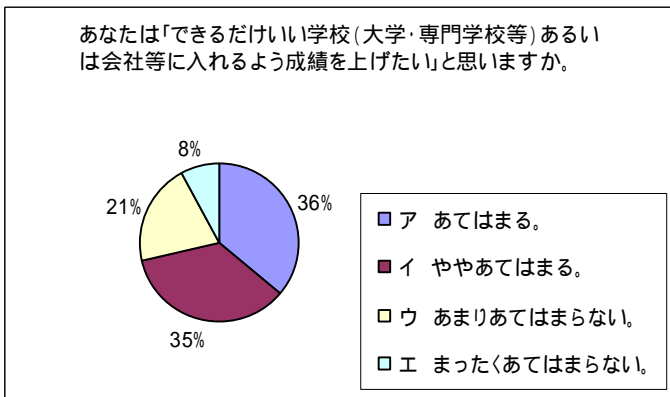
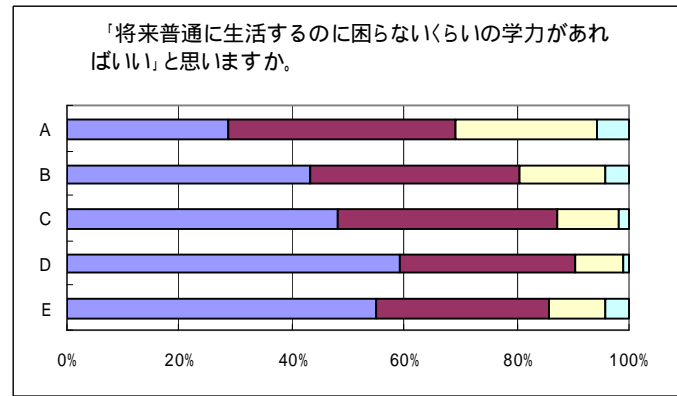
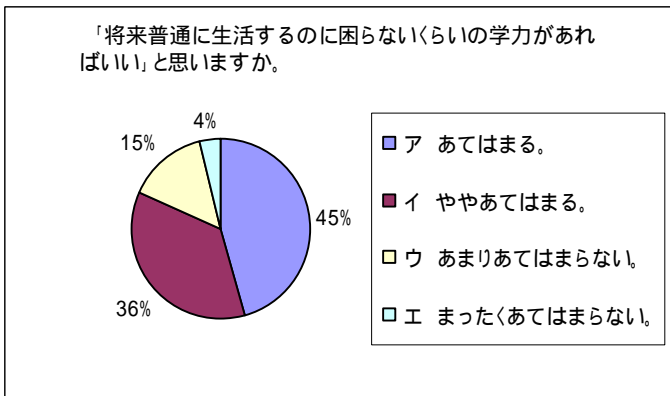
A, Bグループには「勉強は学校だけですればいい」という意識の生徒は少ない。



(4) 学力や成績に関する意識

「将来、普通に生活するのに困らないくらいの学力があればいい」と思っている生徒は8割程度である。

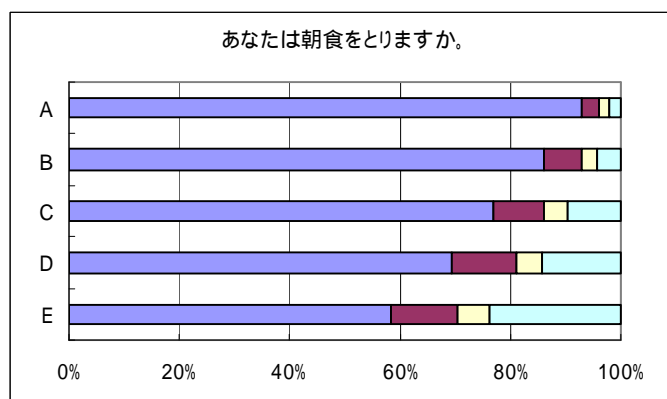
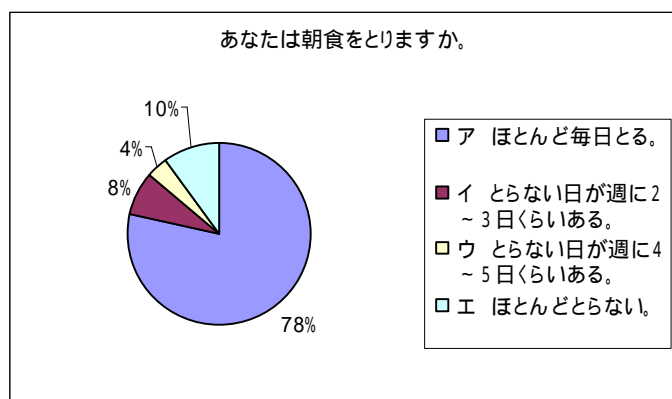
「できるだけいい学校あるいは会社等に入れるよう成績を上げたい」と思っている生徒は7割程度であり、A, Bグループにそのような生徒が多い。



(5) 校外における生活

ア 基本的な生活習慣

A, Bグループは、朝食をとっている生徒の割合が高い。朝食をとらない生徒は、学校に遅刻する生徒の割合が高い。また、いらいらすることがよくある生徒の割合も高くなっている。



朝食をとっていますか	遅刻することがありますか	割合
朝食を毎日とる	まったくない・ほとんどない	81.3
	たまにする・よくする	18.7
朝食をとらない	全くない・ほとんどない	46.5
	たまにする・よくする	53.5

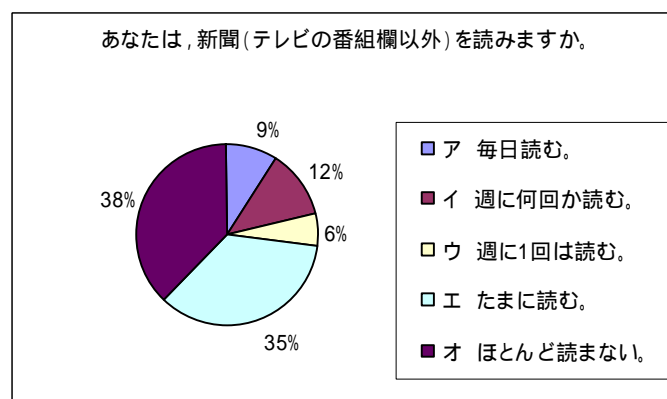
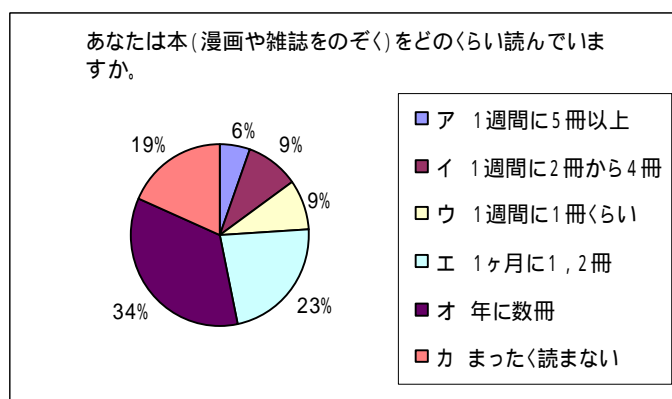
%

朝食をとっていますか	いらいらすることがありますか	割合
朝食を毎日とる	よくある	30.3
	たまにある	60.3
	ほとんどない	9.4
朝食をとらない	よくある	49.5
	たまにある	45.0
	ほとんどない	5.5

%

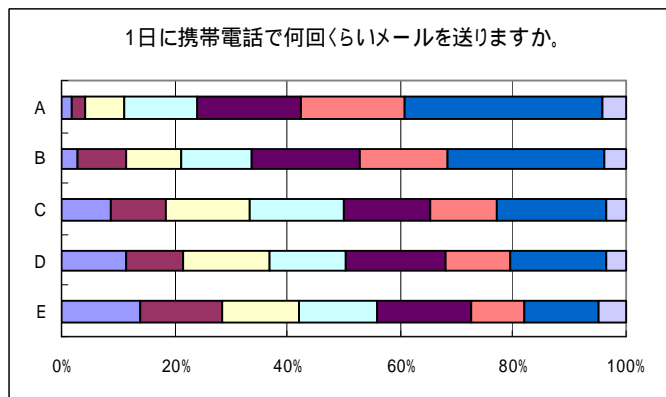
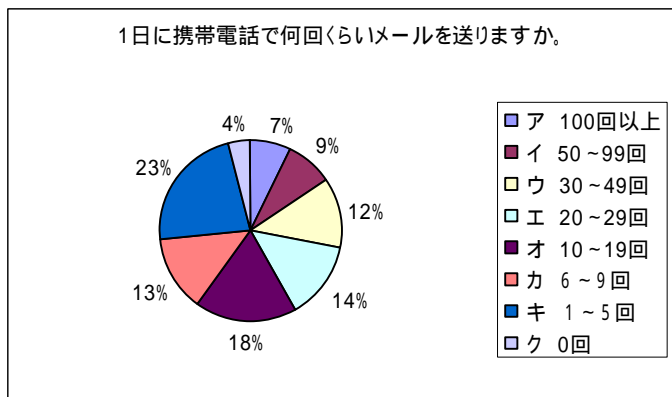
イ 読書や新聞

週に本を1冊以上読む生徒は4人に1人の割合であり、新聞を毎日読む生徒は1割程度である。



ウ 携帯電話

携帯電話は、98%の生徒が所持しており、頻繁にメールのやりとりをしている。

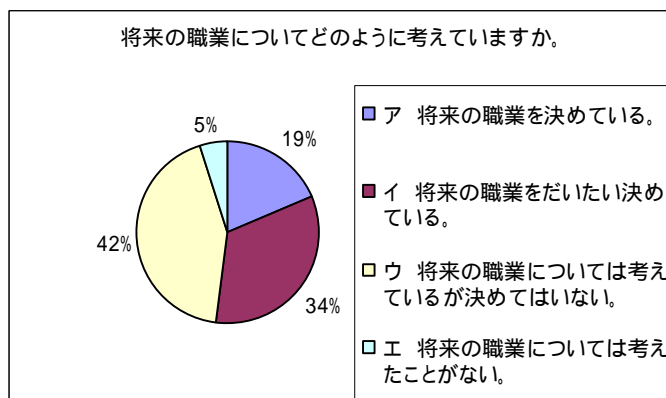
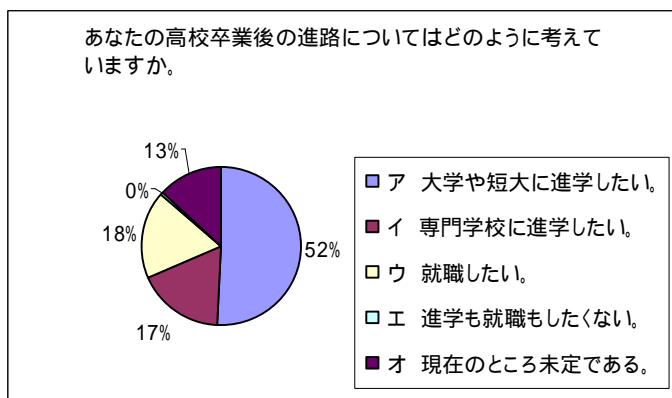


「あなたは携帯電話を持っていますか」という設問に対して、98%の生徒が「はい」と答えている。グループによる差はなかった。

「あなたは平均して1日に携帯電話で何回くらい電話をかけますか。」という問いに対して、59%の生徒が「1回から2回」、17%の生徒が「3回以上」、24%の生徒が「0回」と答えた。

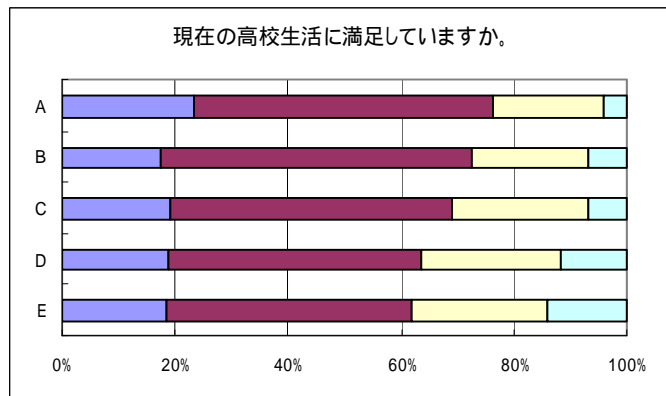
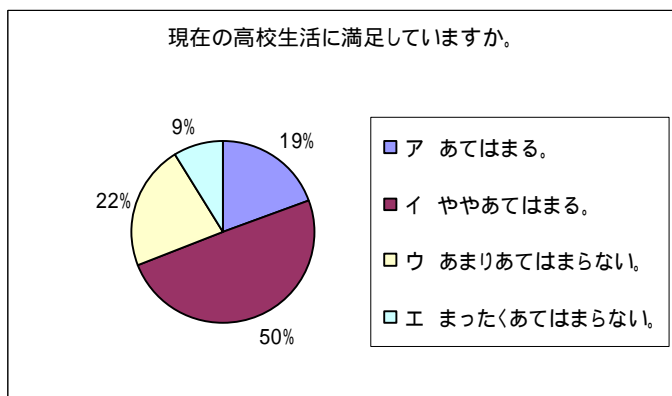
(6) 将来のこと

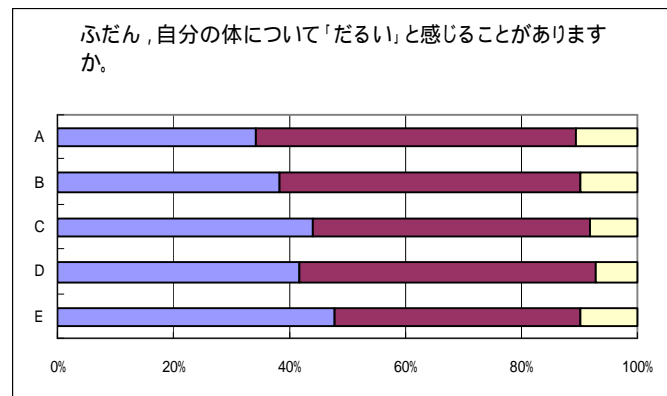
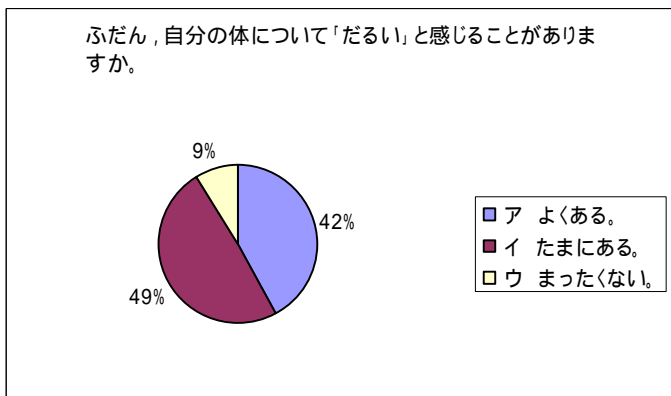
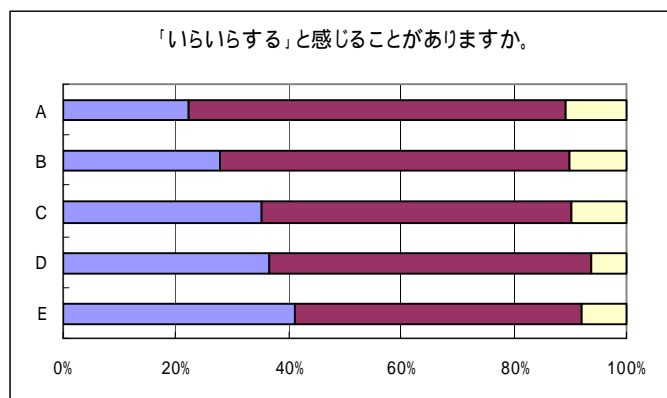
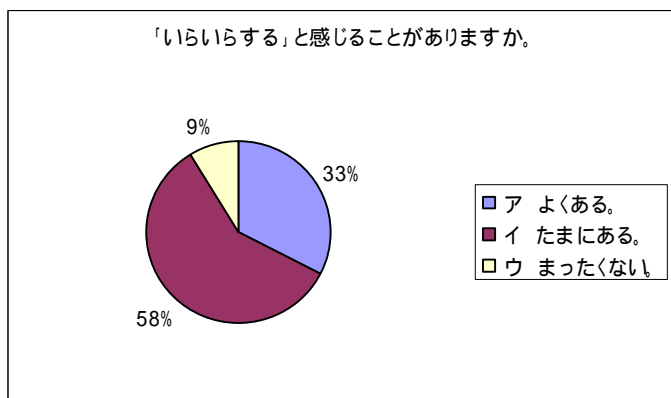
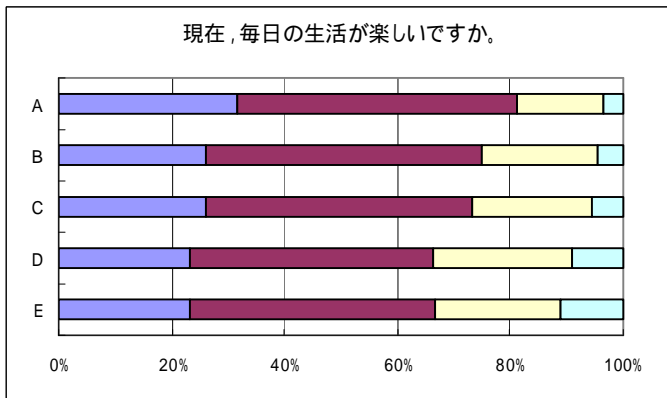
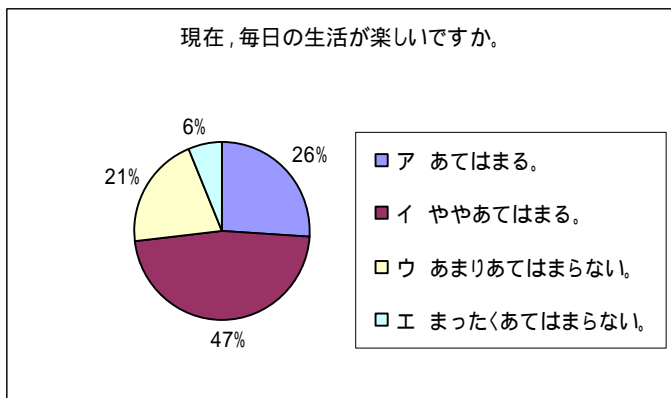
高校卒業後の進路は大部分の生徒が決めており、将来の職業について「決めている」「だいたい決めている」と答えた生徒は全体の5割程度である。



(7) 満足度

「現在の高校生活に満足している」、「毎日の生活が楽しい」と答えた生徒はそれぞれ7割程度で、グループによる差は小さい。一方で、「いろいろすることがよくある」と答えた生徒は3割程度、「だるいと感じることがよくある」と答えた生徒は4割程度である。高校生活に満足していない生徒には、「いろいろすることがよくある」という傾向が見られる。





高校生活の満足度といろいろな感との関係

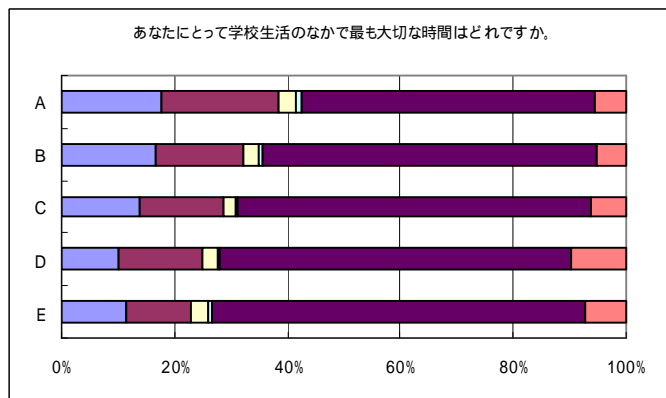
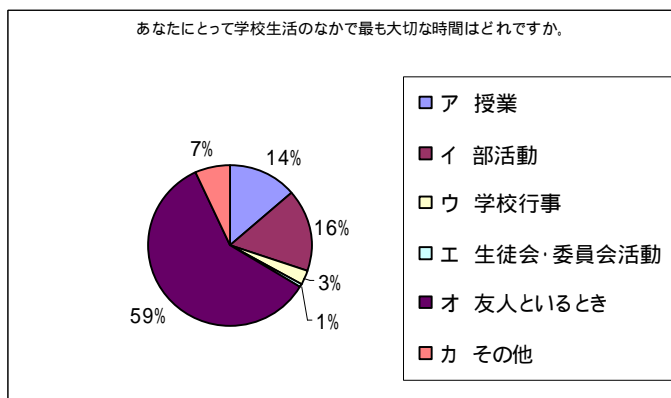
高校生活に満足していますか	「いろいろな」と感じるがありますか	割合
満足している	よくある	18
	たまにある	66
	まったくない	16
満足していない	よくある	71
	たまにある	25
	まったくない	4

%

参考

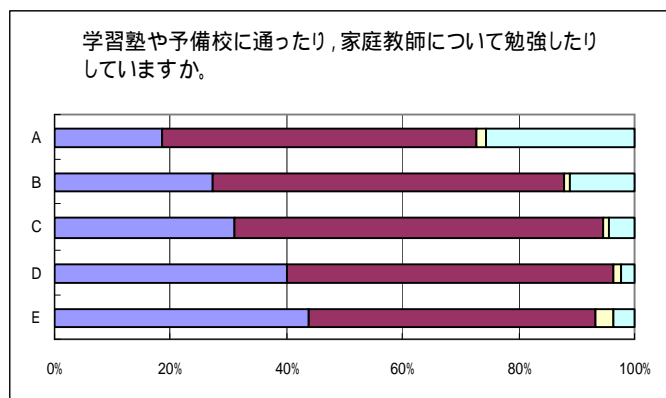
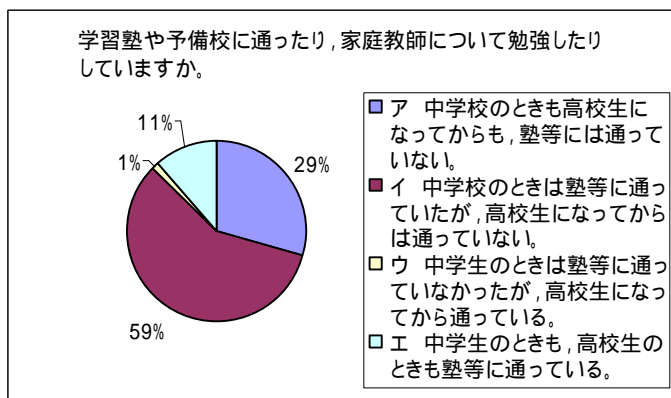
学校生活の中で最も大切な時間

どのグループでも、「友人といるとき」と答えている生徒が最も多い。



塾・予備校等の状況

中学校で塾や予備校に通ったり、家庭教師について勉強した生徒は7割であるが、高校で塾や予備校に通ったり、家庭教師について勉強している生徒は1割程度である。



課外等の実施状況

ほとんどの学校で、補習授業や課外授業が行われている。

該当する科目について、補習・課外授業等は実施しましたか。(複数回答)

科目名	放課後などに行う希望者対象の課外授業	放課後などに行う達成状況が不十分な生徒対象の補習授業	長期休業中などに行う希望者対象の課外授業	長期休業中に行う達成状況が不十分な生徒の補習授業	その他の補習・課外授業	実施していない
国語総合	50.4	53.0	47.0	29.9	20.5	12.8
数学	51.7	52.6	45.7	31.0	23.3	10.3
英語	63.5	47.8	52.2	27.0	27.8	15.7

%

面接等の実施状況

年間2回から3回と答えた学校が最も多く、ついで4回から5回と答えた学校が多い。

あなたの学校では、教師は1年間に何回くらい1人の生徒に対して面談を行いますか。

回数	6回以上	4回から5回	2回から3回	1回	実施していない。
割合	6.0	26.8	61.7	5.2	0.3

%